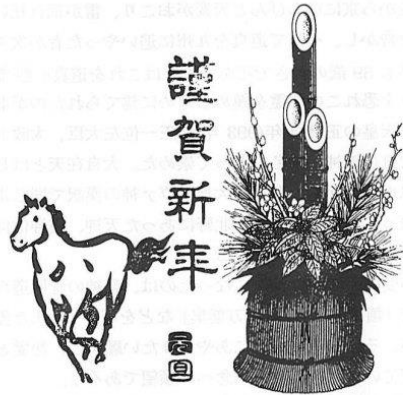


## ふれあい新聞

第61号 平成14年1月1日(季刊) 田中野田町内会



## 年頭のご挨拶

田中野田町内会長 和氣 加太志

平成14年の新春を迎え、誠にありがとうございます。町内の皆様には、旧年中町内会に対しまして、温かいご支援ご協力を頂き無事に終えることができ、役員一同心よりお礼を申し上げます。今年も心を新たに、皆様にご喜ばれる町内にしていきたいと存じますので、この上ともご理解とご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。新しい年を迎えるにあたり、本町内の当面する課題について少しばかり申し上げてみたいと思います。

皆様ご承知のように、現在岡山市では地域の情報化の一環として、インターネットを利用した情報の収集や活用について、先進的な取り組みをしています。とりわけ私どもの御南地区は西大寺地区と共にモデル実験地区として、モニター募集を行い整備が進められております。

一方、市では地域情報化を推進するために、「モデル電子町内会」を指定し、市と町内会、町内会相互、町内会と市民一人ひとりがインターネットを通して結び、町内会の活性化を図るための試行を考えています。御南地区の中でも田中野田は、この面に対する理解者が多いこともあり、市の提唱しているモデル電子町内会への田中野田の参加が求められており、特に問題がなければ参加の方向で考えたいと思っています。

次に、西バイパスの問題であります。現在平成17年の岡山国体を目

指して、工事が急ピッチに進められています。この道路は2年程前に地域高規格道路に格上げになり、8車線中4車線は高架で、この地域に関係のない通過道路となります。したがって、下の側道4車線が地域発展につながる生活道路となり、国土交通省の計画では、田中野田の場合御南中学校正門前の交差点が人、自転車、車が横断できる唯一の場所となります。現在横断している他の2か所は、西バイパスにはつなぎますが左曲がりしかできず、横断できない計画になっています。できれば現在使用している横断道は生活道として生かし、今までどおり人も自転車も車も通り抜けできるよう交渉中であります。

## 婦人部の親睦旅行

(9組) 角田 和子

去る11月25日晚秋の一日、町内婦人部31名が平素の忙しさやストレスを忘れて、「しまなみ海道大歩危峽舟下り」に出掛けました。天気も先ずは上々気分も晴ればれと、御南中学校前から一路尾道へ向かいました。車窓にうつる紅葉の風情もさわやかで、いっそう旅情をそそります。

同席の友人とのおしゃべりに花が咲き、ガイドさんの名調子も耳をかすめがちでした。因島大橋を渡りながら、島と海と大橋の景観に改めて瀬戸内の美しさを実感しました。そして山の斜面、農家の庭先にたわわに実をつけたみかん畑、海辺や棧橋で釣竿を垂れている人、穏やかな風景です。まるで原田泰治さんの絵を見るようでした。

来島海峡大橋を渡り今治に到着、昼食は「リンリンパーク」で松茸料理に舌づつみをうち、いよいよ大歩危峽を目ざしました。舟下りは兩岸からせまってくる断崖と奇岩、清流の青さに声を上げながら、30分間の秘境を歳を忘れて楽しみ一日を過ごしました。町内の皆様との親睦を深めつつ伊予路を堪能し、瀬戸大橋を経て帰路に着きました。お世話をして頂いた方々に厚くお礼を申し上げます。(写真は太歩危峽の舟下り)



## 《特集》 私のパソコン利用

岡山県はIT化の先進地をめざしており、冒頭の会長の年頭挨拶にもありますように、今後当地区では他に先んじて急速にパソコンが普及し、インターネットなどによる情報の収集や活用が盛んになると思われます。このような現況から、本紙では今回特集としてパソコンをとりあげ、職場での仕事以外の趣味・娯楽・日常生活での利用やその効用について、町内4名の方に寄稿していただきました。(広報渉外部)

## パソコンのすすめ

(7組) 猪子 啓二

最近「パソコン」「インターネット」という言葉をよく耳にします。前総理の「IT革命」の提言により、教育現場をはじめビジネスにはもちろんのこと、家庭でもかなり普及しています。学校教育の一貫として勉強するので、大人よりも子供達のほうが早く親しむようです。

さて、中年になって始めようとするとかかと億劫に思えますが、幸いNHKの講座もあるように、色々と勉強する機会は設けられています。パソコンは全てマスターしようとしても、数多くの可能性を秘めていて無理なことです。インターネット、デジタルカメラ、年賀状作成、ゲーム等々、自分の興味あることから始めてみるのはいかがでしょうか。インターネットは百科事典のようなもので、自分の興味のあるところにアクセスすれば、いろんな情報を得ることができます。

自分なりに楽しいパソコン活用法をみつけるために、まずパソコンの前に座ってみましょう。

## パソコンをはじめて

(9組) 斎藤 雄幸陸

「パソコンとかけまして、長い夏と解く」そのココロハ「いつまでも秋(飽き)がきません」

今から一年前、日本中は「IT」「IT」の大合唱が鳴り響いていた。折しも、当地区で情報水道の実験がはじまると聞き、これに乗り遅れてはいけないとばかりに、一大奮発してパソコンを買いモニターになった。

ネットワークもつながり、早速慣れない手つきで娘にメールを送ってみた。届いたかどうか電話で確認したら娘に笑われた。それでも月日の経つにつれ、メールの数も増え、ホームページから情報を得るなどの活用もできるようになった。事例を一つ紹介します。

今年の夏、涼しいところへ行きたいということで大山に行くことにした。せっかく山陰へ行くのだからもう少し足を伸ばすことにし、パソコンで松江市のホームページを開いてみた。目に入ったのは今年の4月に開館した「ティファニー美術館」と、7月に開園した「フォーゲルパー